

令和6年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	3	岡谷市やまびこ国際スケートセンター				
指定管理者	名 称	(株)やまびこスケートの森		指定期間	R3.4.1~R8.3.31		
料金形態	形 態	指定管理料		指定管理料	87,070,000 円		
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施						
施設担当課	スポーツ振興課						

1 施設担当課によるモニタリングの実績

○施設訪問

・施設訪問の頻度 ▼より選択

月に数回

・施設訪問の際に行った内容 ▼より選択

情報交換、意見交換	<input type="radio"/>
施設管理状況の確認	<input type="radio"/>
施設の安全点検（危険箇所の把握等）	<input type="radio"/>
業務指導、改善要求	<input type="radio"/>

○事業報告書

・報告書の提出を求めている頻度 ▼より選択

日報	月報	四半期報告書	年報（事業報告書）
×	○	×	○

●モニタリングの結果

・モニタリングで把握した課題

【継 続】
①管理棟屋根に錆や塗装の剥げている箇所があるが、雨漏り等はなし。
②管理棟外壁に、塗装が剥がれ、タイルクラック箇所がある。
③リンク中央部分（テニスコート部分）やリンク回りのアスファルトや幅木に傷みがある。
④場内凍結箇所（リンク内側、連絡地下通路等）への早期対応。
⑤利用者拡大へ向けた取り組み。
⑥冷凍機エンジンのオーバーホール修繕頻度の見直しによる定期点検の強化。
⑦天災によるリンク周辺の倒木対応。
⑧原油・原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価高騰等に対する対応。

・指定管理者に対して業務指導、改善要求を行った内容

【継 続】
①指定管理者による定期的な経過観察を行い、雨漏り等が確認された場合はすぐに報告するよう指導。
②指定管理者による定期的な経過観察を行い、事業を実施するうえで支障をきたす場合及び施設利用者の安全面に影響を及ぼす状況が確認された場合は直ちに報告するよう指導。
③指定管理者による修繕及び定期的な経過観察を行い、事業を実施するうえで支障をきたす場合及び施設利用者の安全面に影響を及ぼす状況が確認された場合は直ちに報告するよう指導。
④凍結防止剤の散布指示、転倒防止のための敷物の設置。
⑤SNS等を広く活用した施設利用の周知や競技の魅力を伝えスケート人口の拡大に向けた取り組み検討指示。
⑥冷凍機エンジンのオーバーホール修繕については、毎年1機づつ状況を見ながら実施していたが、コスト削減の観点より2~3年に1回の修繕となった。そのため、整水に支障をきたすような故障が発生した場合や恐れがある場合は、緊急にてに対応することとしているため、早期に故障箇所を把握するために、今まで以上に点検を強化するよう指導。
⑦斜面の大木の劣化具合や延びた枝等の管理を心がけ、大雨などの天災に備えて状況把握するように指導。また、軽微な作業は早急に対応し、対応が困難な場合は直ちに担当課に連絡するよう指導。
⑧主に電気料金及び燃料費の高騰に対し、業務に支障をきたさない範囲での節電等の指導。なお、市より指定管理料金に上乗せする形で財政的支援を実施。

・業務指導、改善要求への対応状況 ▼より選択

内容	チェック
指定管理者は、市の指導・監督に従い、速やかに指摘事項を是正・改善した。	<input type="radio"/>

2 施設担当課としての評価

○ 実績評価

・事業報告書各項目の採点 (70点)

事業計画の項目	指定管理者	市の評価	評価に対する事項
基本方針	4	4	基本方針に沿った管理運営がされている。
経費縮減	3	4	燃料費・電気代が高騰する中で、引き続き効率的な運営に努めていただきたい。
職員の配置	5	5	リンクの監視員を適正配置し、利用者の安全確保に努められている。
有資格者等の配置	5	5	適正に配置されている。
職員研修の実施	3	3	概ね実施計画に基づいて実施されているが、さらなる職員の資質向上を期待する。
施設の維持管理	4	4	施設が老朽化している中、巡回業務を実施しながら適切な管理運営がされている。
住民の平等利用の確保対策	4	4	利用者へ施設利用に公平性を欠くことのないよう対応している。
サービス向上対策	4	3	利用者の安全な施設利用に努め、利用者増に向けた対応に努めていただいた。利用者のニーズを把握し、更なるサービス向上に期待する。
利用者の要望の把握及びその実現対策	3	4	概ね実現対策が図られているが、さらなる利用者増に向けた対策を期待する。
自主事業の実施	4	3	フリーマーケット等、自主事業への取り組みが図られた。
地域、他施設との連携	4	4	塩尻市の市民への補助適用や下諏訪町の小学校授業対応等、地域との連携が図られている。
施設の運営	4	4	施設の利便性と安定的な運営に努めている。
個人情報保護に向けた取り組み	5	5	適正に取り組まれている。
防犯、防災の対応 その他、緊急時の対応	5	4	大雨時における被害状況の把握など、迅速に対応されているが、平常時の施設周辺の定期点検の強化や緊急時の対応の再確認に取り組んでいただきたい。
合計	57	56	

※各評価に対する事項については、特記すべき点を記載（採点「5」及び「1」については、必ず評価に対する事項を要す）すること。

採点	評価基準
5	管理運営業務が要求水準、事業計画を上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を確保した。
4	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり又はやや上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を行った。
3	概ね要求水準、事業計画のとおりの管理運営を行った。
2	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり行われており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供が提供されることが見込まれるものの、一部遅滞や不履行がみられ、簡易な改善を要する。
1	管理運営業務が要求水準、事業計画を下回るなど、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供に改善が図られず、次年度に早急な改善等を図る必要がある。

・出納状況（4点）

出納状況	はい	いいえ
決算について、各項目の収入額は適正である。	1	
〃、各項目の支出額は適正である。	1	
〃、必要な業務を行わずに余剰金が生じた項目はない。	1	
指定管理経費は、法人本体の経理とは明確に区別して管理された。 複数施設を一括管理している場合、1施設ごとに予算・決算が示された。	1	
	合計点	4

・事務事業評価（10点）

↑増、↓減、→現状維持

▼より選択

施設の利用状況	チェック	採点	有効性評価	標準
施設稼働率	↓	0		
年間利用者数、件数	↑	2		
1日あたり利用者数、件数	↓	0		
施設使用料年間収入額	↑	2		
活動一単位あたりコスト ※1	↓	2		
※1 増0点、減2点	合計点	6	増：2点	維持：1点
			減：0点	

・評価する事項

- これまで培ってきた専門的な知識やノウハウを活かす中で、岡谷市のスケート振興の中心的役割を担うとともに、安定的な施設の管理運営に努めた。
- 施設の老朽化や、原油価格の高騰に伴う燃料費の負担が増える中、修繕の内製や気象状況に合わせた冷凍機の管理など、施設の効率的な管理運営により、経費縮減に努めた。
- リンク監視員を適正配置し、施設利用者の声を反映しながら、安全確保に努めるとともに利用者の公平性の確保にも努めた。

・改善が必要だと考える事項

- 原油価格・物価高騰に対し、コスト削減につながる取り組みや業務改善を推進する必要がある。
- 利用者増に向け、ホームページやSNSを活用した定期的な情報発信や各種イベントや自主事業の充実を目指し、さらなるスケート振興及び底辺拡大に努める必要がある。
- 施設の老朽化に伴い、日々の細やかな点検業務を実施し修繕箇所の早期発見に努め、小規模修繕による対応を促進し、利用者が安全・快適に利用していただけるよう管理運営に努める必要がある。

・事業計画書の提案事項のうち未実施の項目

未実施の項目	特になし
未実施の理由	

・ 3つの選定基準による評価 (16点)

▼より選択

3つの選定基準	評価項目	評価	点数
1 平等利用の確保	利用者ニーズへの対応の積極性、苦情処理の充実度	高い	2
	平等利用の確保対策の充実度	普通	1
2 施設の有効利用及び 経費の節減	施設利用状況の向上度 (利用者数・件数、使用料収入)	普通	1
	岡谷市のまちづくりに対する貢献度	普通	1
	経営ノウハウの活用度	普通	1
3 管理の安定性	管理・運営コストの抑制度	高い	2
	管理・運営体制の安定度	普通	1
	施設・設備の安全度、安全確保対策の充実度	高い	2
			合計点 11

●総合評価

特に優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する		優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	適正な管理運営が行われており、更なる向上が求められる	管理・運営方法の改善が必要である	管理・運営方法の抜本的な改善が必要である
90点以上		89-70点	69-50点	49-30点	29点以下
S	A	B	C	D	
	○				

令和6年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	3	岡谷市やまびこ国際スケートセンター			
指定管理者	名 称	(株) やまびこスケートの森	指定期間	R3.4.1～R8.3.31		
料金形態	形 態	指定管理料		85,448,000 円		
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施					
施設担当課	スポーツ振興課					

1 施設の利用状況

*①は貸館施設のみ対象 *②・③はどちらかの欄に記入 *

区分	4年度	5年度	6年度	7年度(予算)
① 施設稼働率	101.2%	102.4%	98.8%	
年間開設日数(日)	84	83	86	86
1日の開設時間(時間)	13	13	13	13
年間利用可能時間(時間)	1,092	1,079	1,118	1,118
年間利用実績(時間)	1,105	1,105	1,105	1,105
② 年間利用者数(人)	14,700	13,703	13,966	13,966
有料利用者数	6,034	5,721	6,246	6,246
無料利用者数	6,832	7,252	7,048	7,048
減免措置者数	1,834	730	672	672
③ 年間利用件数(件)	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	175.0	165.1	162.4	162.4
⑤ 施設利用状況の説明				

2 コストの推移

* この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位:円]

区分	4年度	5年度	6年度	7年度(予算)
① 直接事業費	95,729,308	89,888,184	95,685,470	90,819,000
経常経費	84,675,408	89,888,184	91,512,070	90,819,000
臨時の経費	11,053,900	0	4,173,400	0
* 臨時の経費の説明				

区分	4年度	5年度	6年度	7年度(予算)
② 人件費	640,000	640,000	640,000	640,000
正規職員の人数(人)	0.08	0.08	0.08	0.08
③ 合計コスト(①+②)	96,369,308	90,528,184	96,325,470	91,459,000
前年度比		93.9%	106.4%	94.9%
財源	一般財源	89,915,033	84,314,754	89,912,155
内訳	特定財源	6,454,275	6,213,430	10,080,000
* 特定財源の説明	施設使用料、財産使用料			
④ 施設使用料年間収入額	5,290,935	5,016,960	5,117,295	8,884,000
⑤ 年間減免措置額	894,680	835,555	659,110	659,110
⑥ 受益者負担割合	6.5%	6.5%	6.0%	10.5%
⑦ 活動一単位あたりコスト	5,804	6,606	6,598	
前年度比		113.8%	99.9%	
⑧ コストに関する補足説明				

3 大規模修繕の予定

予定事業費	円	予定期間
内 容		

4 施設の維持管理コスト

1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時の経費	合計	内訳
需用費		4,173,400	4,173,400	冷凍機エンジン修繕
役務費	303,040		303,040	保険料
委託料	87,070,000		87,070,000	指定管理料（価格高騰対策支援事業負担金）
使用料及び賃借料	4,139,030		4,139,030	土地借上料
負担金及び交付金		0	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	91,512,070	4,173,400	95,685,470	

2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時の経費	合計	
正規職員の人数	0.08		0.08	人
合計	640,000	0	640,000	円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
施設使用料	5,117,295		5,117,295	施設使用料
財産使用料	1,296,020		1,296,020	トレーニングルーム等
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	6,413,315	0	6,413,315	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時の経費	合計
合計	85,738,755	4,173,400	89,912,155